

なかつか 亮

ニコン大井製作所の解体工事

音・ゆれ・交通安全対策 の強化望む声多数

7月末説明会にて



解体される建物の1つである103号館(地上6階地下1階)

「事前周知もなく、解体工事。滝王子通りがダンブ通りになっっている」「解体の、『ゆれ』や音を何とかしてほしい。1日の工事が終わった後も、クラクラと船酔い状態になる」
7月25日、西大井駅近くの、ニコン大井製作所の解体工事等に伴う説明会が、ニコンの会議室で開催。近隣住民や商店街、PTAから、工事車両や解体時における騒音・振動・安全対策の強化を求める声が多く出されました。

事前周知なく 工事開始

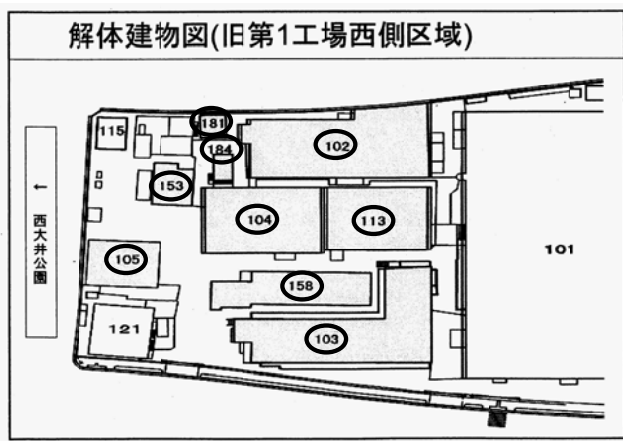
ニコン大井製作所の解体工事は、今年1月の調査で土壌汚染が見つかり、近隣住民に事情を説明しました。しかし、解体工事が始まるにあたって、ダンブカーなどの工事車両が通過する、滝王子通りの周辺住民に事前説明がされな

まま、工事が開始。「このダンブはいったい何？」と、騒音や振動、交通安全対策への不備を指摘する声がいっせいに上がり、苦情は区や警察にもよせられました。
7月25日の説明会は、ニコン側から「事前説明が不足し申しわけありません」と謝罪から始まる事態になりました。裏面

解体工事は来年1月まで 住環境の対策強化を

解体建築物は計9棟

7月25日の説明会には、私も参加をしました。ニコンは解体する建物は、大小合わせて9棟。大きい建物は、102号館（5階）と103号館（6階）で、地下室もあるもので、かなり大規模な解体作業になることが予測されます。



丸印が今回、解体される建物です

10tダンプが1日50台?

工事予定表では、10tダンプが、1日に8月～10月は10台、11月以降は50台と示されています。質疑では「子どもに登下校時には、工事車両の出入りはやめてほしい」「滝王子通りをダンプカーがすれ違うと、歩行者が危険。対策は」等の意見がだされました。私も「10tダンプがあまりにも多すぎる。4tダンプに代行するなど、できるだけ台数を減らしてほしい」と要望。ニコンは「台数を減らせるよう4tダンプも含め検討します」と回答しました。

騒音対策をもっと強化して

「解体の音がうるさすぎる。見ていると作業が乱暴。もっと音が出ないように、丁寧に

進めてほしい」や、近所のコアスターレの居住者からも「騒音対策の強化」を求める意見もあがりました。

次回の説明会はいつ?

これだけ大規模な解体工事ですから、十分な説明会の開催が必要です。私は「今後の説明会の日程は」と聞くと、「ニコン側は「必要に応じて開催する」と、具体的な日程は示されませんでした。

私は、すぐにでも説明会を再開し、解体工事は、近隣居住者や商店街、PTAなど関係住民とニコン側が工事協定書を結んだ上で、始めるべきだと思えます。この解体工事は、ニコンの地域への会社姿勢が問われていると思います。

なかつか亮



西大井広場とニコンとの間の狭い道路。以前から、広げてほしいとの相談がありました。

狭い歩道が改善されます

解体後の敷地利用についてニコンは「現在は全くの未定」と回答。そこで、長年の難問だった、ニコンと西大井広場の間の狭い道路について、私は「この道は、歩道が狭く。歩行者が危険。ニコン側にセットバックし、歩道を拡幅してほしい」と要望。ニコンは「将来的には、歩道を広げる方向で検討したい」と答えました。歩道が改善されうれしいです。